

# 【概要版】北九州市公共施設マネジメント基本計画(社会インフラ版)(素案)



## 1 計画の概要

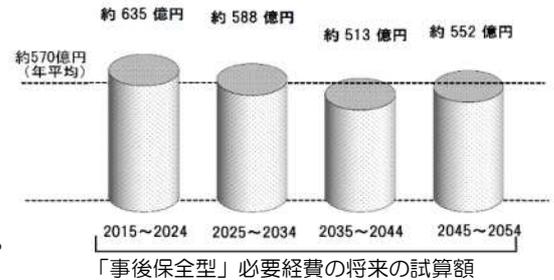
### (1) 計画策定の背景

本市の社会インフラは100年以上前から整備され、旧五市の均衡を図りながら整備が進み、今後は耐用年数に達する施設が増加する。

### (2) 必要経費の見込

#### ①中長期的な費用の見込として「事後保全型」

で試算した場合、  
今後40年間で約2兆2800億円、  
平均で約570億円/年が将来的に見込まれる。



②維持管理費用のH24・25年度決算平均は約460億円/年（一般会計+企業会計）  
「事後保全型」約570億円/年に比べ、予算の不足が懸念される状況。

### (3) 総合的な基本方針

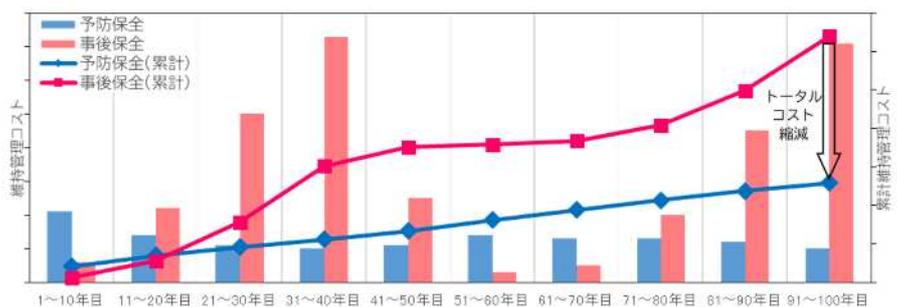
- ・計画期間40年
- ・点検、診断、措置、記録のメンテナンスサイクルの確立
- ・計画的な予防保全による長寿命化を進め、トータルコストの縮減、予算の平準化を図る

項目	金額 (億円/年)
事後保全	約 570
予防保全	約 490 (令和3年度推計)
対策の効果額	約 80

- ・「点検・診断等」「維持管理・修繕・更新等」「安全確保」「耐震化」「長寿命化」「ユニバーサルデザイン化」「脱炭素化」「統合や廃止」「人材育成」の実施方針



メンテナンスサイクルのイメージ



施設ごとのトータルコストの縮減イメージ

### (4) 施設類型ごとの基本方針

各施設の状況、管理に関する取組方針(個別施設計画)。

### (5) トータルコスト縮減の考え方及び取組方針

取り組みの目標として、計画的な予防保全を推進することにより、維持管理費用を「H24・25年度決算平均である約460億円/年以下」にできるよう努力していく。

## 2 フォローアップ

### (1) 個別施設計画の策定

分類	対象施設
道路	舗装、橋梁、トンネル、門型標識、横断歩道橋、大型カルバート
水道	管路施設、浄水場・取水場、ポンプ場、配水池
下水道	下水道管渠、処理場、ポンプ場
公園	公園施設
河川	護岸、流域貯留施設、水門、地下調節池
環境プラント	焼却工場、各資源化センター、し尿施設
モノレール	モノレール施設
港湾	係留施設、外郭施設・廃棄物埋立護岸、臨港交通施設、その他港湾施設、海岸保全施設
農林	農業施設(水門)、林道(橋)
漁港	漁港基本施設、漁港環境施設等、海岸保全施設

### (2) 点検実績

分類	対象施設	1巡 目実 施率	備考
道路	舗装、橋梁、トンネル、門型標識、横断歩道橋、大型カルバート	100%	2巡目着手
水道	管路施設、浄水場・取水場、ポンプ場、配水池	100%	2巡目着手
下水道	下水道管渠、処理場、ポンプ場	100%	2巡目着手
公園	公園施設	100%	2巡目着手
河川	護岸、水門、地下調節池	100%	2巡目着手
	流域貯留施設	50%	
環境 プラント	焼却工場、各資源化センター、し尿施設 日明積出基地、西地区処分場	100%	関係法令により定期点検 及び日常点検を実施
モノレール	モノレール施設	100%	2巡目着手
港湾	係留施設、外郭施設・廃棄物埋立護岸、臨港交通施設、その他港湾施設、海岸保全施設	100%	2巡目着手
農林	農業施設(水門、農道、水路、ポンプ施設)、林道	100%	2巡目着手
漁港	漁港基本施設、漁港環境施設等、海岸保全施設	100%	2巡目着手

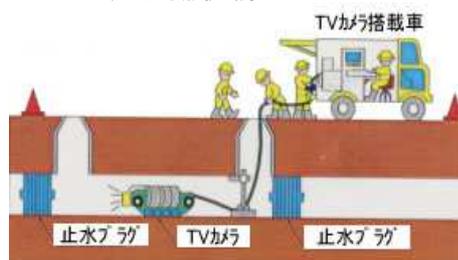
#### ・橋梁の点検

ドローンによる点検・調査



#### ・下水道管渠の点検

テレビカメラによる点検・調査



(3) 対策実績

分類	対象施設	対策実績
道路	舗装	点検結果を踏まえ随時修繕
	橋梁	36 橋(1 巡目点検結果、健全性Ⅲ)
	トンネル	4 本(1 巡目点検結果、健全性Ⅲ)
	門型標識	点検結果を踏まえ随時修繕
	横断歩道橋	18 橋(1 巡目点検結果、健全性Ⅲ)
	大型カルバート	1 箇所(1 巡目点検結果、健全性Ⅲ)
水道	管路施設	242.8 km
	浄水場・取水場、ポンプ場	点検結果を踏まえ随時修繕
	配水池	5 箇所
下水道	下水道管渠	92.4 km
	処理場、ポンプ場	点検結果を踏まえ随時修繕
公園	公園施設	点検結果を踏まえ随時修繕
河川	護岸、水門	点検結果を踏まえ随時修繕
環境プラント	焼却工場、各資源化センター、し尿施設 日明積出基地、西地区処分場	点検結果を踏まえ随時修繕
モノレール	インフラ施設(軌道桁、支柱、停留場、分岐橋)	462 箇所
港湾	係留施設、外郭施設・廃棄物埋立護岸、臨港交通施設、その他港湾施設、海岸保全施設	点検結果を踏まえ随時修繕
農林	農業施設(水門、農道、水路、ポンプ施設)、林道	点検結果を踏まえ随時修繕
漁港	漁港基本施設、漁港環境施設等、海岸保全施設	点検結果を踏まえ随時修繕

下水道管渠の対策



既設管内部の全面修繕、耐震補強



公園の対策



施設の修繕、ユニバーサルデザイン化



(4) 民の力との連携

分類	事業名	方式
水道	北九州市配水管理システム整備維持管理事業	DBM
下水道	北九州市下水汚泥燃料化事業	DBO
公園	勝山公園鷗外橋詰広場への民間活力導入	Park-PFI
環境 プラント	新日明工場整備運営事業	BTO
	北九州市新日明かんびん資源化センター整備・維持管理事業	DBM
	北九州市プラスチック製容器包装選別施設整備運営事業	BOO

(5) 人材育成の実施

・研修

市主催の研修等・・・169回、のべ6,095人参加(平成29年度～令和2年度)

外部機関主催研修・・・112回、のべ666人参加(平成29年度～令和2年度)

・講演会

「計画的維持管理に関する講演会」・・・年1回開催(平成21年から)12回、のべ947人参加

(市主催研修の例)

対象	研修名	備考
新規採用・新任職員	積算研修、スキルアップ研修、ほか	一部動画配信により実施
育成期職員	現場を活用した勉強会、技術伝承塾、ほか	
職員(設計)	設計業務実務者研修、設計精査業務研修	
職員(安全講習)	安全講習会	一部動画配信により実施
職員(i-Construction)	勉強会、受発注者間共有システム講習会	
職員(検査関連)	工事検査報告会、ほか	一部書面開催により実施
職員(現場見学・実地)	測量技術実地研修、現場見学会、ほか	
職員(その他市主催研修)	出前研修、CAD研修、その他	一部動画配信により実施

新規採用職員積算研修



計画的維持管理に関する講演会

